

福高はあなたの「未来」を応援します！

文理科学科

「みらい学」とは

「みらい学」とは、福知山高校文理科学科独自の取組です。今年度の取組を紹介しながら、1年生で履修する「みらい学Ⅰ」について説明します。



「みらい学Ⅰ」

- 大学や社会の最前線で活躍されている方々を講師にお招きし、特別講義を通して多様な学問に接します。
- 講師の先生方から、それぞれの学問テーマに即した研究課題を与えていただき、その課題について、グループで研究活動を実践し、その研究成果を交流します。

特別講義



「大学における教育と研究—農学の視点から」
講師：神戸大学大学院農学研究科
教授 土佐幸雄 先生



「環境と経済を考える」

講師：京都大学大学院経済学研究科
教授 植田和弘 先生



「検察業務と刑事手続の基本的な流れ」

講師：京都地方検察庁 総務部長
検事 金木秀文 先生



「三葉虫を調べよう」

講師：京都大学総合博物館
館長 大野照文 先生



「グループ研究の手法を学ぶ」

講師：京都大学大学院情報学研究科
准教授 荒井修亮 先生
グローバルCOE助教 奥山隼一 先生

＜研究交流会＞

生徒たちは各先生方から与えられた課題についてグループで研究します。その研究成果を発表するのが研究交流会です。
研究成果の発表手段としては、大きく分けて、ポスターセッション形式とパワーポイント形式の2つの方法があります。



ポスターセッション

研究した成果を1枚のポスターにまとめ、そのポスターの前に立って説明する方式です。



パワーポイント

研究した成果をコンピュータ上で発表資料として作成し、それに基づき発表する方式です。

「みらい学Ⅰ」で学んだ研究手法を駆使しながら、2年次には各グループで自由に研究テーマを設定し、本校教員や京都大学の先生方の指導を受けながら、よりレベルの高い研究活動に取り組みます。